



HOME GROUND of
ECO-LIFE

いい音楽が、 育つ場所。

教室は、
自然素材の音楽ホール。

小中学校の音楽教師を退職後、新築した自宅の一部を開放して、ピアノを中心に楽器の音楽教室を始めたという稲川さん。「私も家族も、特にエコハウスにこだわっていたわけではないのですが、自分たちはもちろん、小さな子どもたちも多い生徒さんたちのことを思うと、自然素材の健康空間であるに越したことないよなあと思って、結局、西條さんをお願いしたんです」

実は、最初は別の会社に設計を依頼していたのですが、西條さんとの出会い、そちらをキャンセルしたとのこと。

「それまでおつきあいしていた方々とは、なかなか希望通りにならなくて、いろいろ噛み合わなくてね……。でも西條さんのところはこちらの希望を温かく受け止め、親身に対応してくださったんです。理想と予算の折り合いをつけていく上では、家族で珪藻土の壁塗りをしたり、初体験ばかりで苦労も多かったけれど、ビジネスライクを超えて対応してくださったおかげで、結果

的には愛着いつぱいの、不満なところが全くない家ができました。生徒さんやお客さんたちも、ステキ！とか、居心地がいいね、って、みなさん誉めてくださいます」

床が歌ってる。
壁も奏でてる。

「この家を地域の文化の拠点にするのが夢。地方は文化に触れる機会が少ないけれど、音楽家を招いての親子で楽しめる演奏会も開いて、好評なんですよ」
無垢材に包まれる、高天井の丸い部屋。1枚ずつ違うドアデザインの粋な温もり……。心身にストレスを与えない自然素材に稲川さんのアート心が調和した空間は、包まれているだけで、何だかほわっと楽しい気持ち。家自体が優しい音楽を奏でているようでした。

森や山で何十年もの間、風や鳥や虫たちの歌に寄り添い、家と化してからも呼吸を止めない天然木材や土壁は、言わば長老アーティスト。そんな空間に包まれていれば、音楽センスが育まれるのも、当然の道理かもしれません。



お庭も広々の「エコな音楽教室」は、生徒みんなの人気のスポット。



動きやすいキッチン、導線研究のタマモノ。

西條さんのアドバイスで、ホールの一部を可動式に。段の中は収納スペース。



薪ストーブは、オシャレで暖かく、薪はご近所からいただくゆえ、オトク。

音楽室には、要注意！

シックスクールなど、学校では、音楽室で具合の悪くなる生徒が多いとの環境病問題も。楽器類の合板・塗料から出る化学物質や、有害物質を多く含む建材類の多用、化学物質や匂いを溜める「遮光カーテン」「天井の吸音」「防音用の機密性」などが原因と考えられます。化学物質の多用は大人の責任。新しい意識で考えたいですね。

エコデザイナー 西條 正幸



この記事の続きは、HPでお楽しみください。
<http://www.saijo-d.com>

望みだった「明るく開放的な家」を実現したリビング。
ふだん天然木に囲まれているので、外出先では化学物質臭に敏感になったそう。



BiO⁺
緑Bioプラス西條デザイン

◎企画・設計 有限会社 Bioプラス西條デザイン
本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581

10
資料請求

自然素材×円形デザインの素敵さに、初めて来た人はみんな息を呑むそう。
発表会やコンサート時は、このスペースが満員状態に。



稲川智恵子さん

音楽教室の先生であり、妻・母でもある智恵子さん。教室のモットーは、ソロの技術だけでなく、他楽器とのアンサンブル演奏で調和のセンスを育むこと。